

小規模業者の課題について

一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 先の議会で、中小企業振興条例の制定について取り上げましたが、2010年に中小企業憲章が、14年に小規模企業振興基本法ができました。

改めてこの内容について自治体の役割も含めてお尋ねします。

答 同法は平成26年6月に公布されており、小規模企業の活力発揮の必要性が増大していることから、国・地方公共団体、支援機関が相互に連携して、着実な事業の運営ができるように支援

をしていくことになっています。自治体の責務としては、商工会議所と連携を図り、さまざまな補助金や金融等の施策に関する情報提供と同時に、金融機関などとも協力をして、小規模事業者の事業運営を活性化する支援体制を構築することです。

問 兵庫県でも、議員提案で振興条例ができたことが報道されました。条例制定について、進んでいるのかお尋ねしたい。

答 平成28年度を目処に、加西市商工業振興条例の制定と、加西市商工業活性化計画の策定を計画しています。

振興条例については、商工業が地域経済の発展に果たす役割を明確にし、地域経済の発展、雇用の促進により市民生活の向上を目指したいと考えています。

また、市内の中小企業、小規模企業の状況を調査し、現状と課題を把握した上で、加西市商工業活性化計画を策定し、加西市の地域特性を生かして将来にわたって持続可能な地域経済の活性化を図るとともに、市民生活の活力に寄与する基本的な方向性と具体的な取り組みを示していきたいと考えています。

要望 商工会議所をはじめ、中小企業の皆さんのアンケート等も実施しながら、実質的な内容のある中身にしていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ 総合計画の見直しについて
- ・ 住宅問題について
- ・ 地域医療構想と機能別病床数について

市発足 50 周年に向けて

一般質問



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 昭和42年4月1日に、北条町・泉町・加西町の3町が合併して現在の加西市が誕生しました。平成29年に迎える50周年は、2期目となる西村市政が、人口減少に歯止めをかけ、5万人都市に挑戦するという非常に困難な目標を掲げる重要な時期とも重なり、特別なものと考えます。

そこで、現在計画されている記念事業についてお聞かせください。

答 50周年は1世紀のちょうど半分であり、100周年と同様に重要と考えています。

構想としては、50年を振り返りながら今後の50年をさらに展望し、「先人の功績に感謝しながら未来の子供たちに残せる加西をつくろう」とのメッセージを伝えるDVDの作成や、大規模改修後の文化ホールのこけら落としもそのあたりであるため、既にある公共施設を活用した記念事業、そして、式典においては、市政功労者等に加えて、50周年ならではの草の根の視点による表彰などを検討しています。

問 記念事業においては、北条鉄道の活用や、払い下げが計画をされている鷺野飛行場跡地、文化ホールのリニューアルとタイミングが重なりますので、そ

の点ぜひ生かしていただければと思います。

また、50年は中間点であり、新たなスタートでもあります。かつて合併した3町それぞれが、今後、地域をどのように変えていくのか、つくっていくのかを含めて、目指す方向性を示しながら、より良くつながっていければと考えます。見解をお聞かせください。

答 地域の特徴を生かした記念事業をはじめ、市民の方からご意見をいただくことなども幅広く検討しながら、各地域地域、一人一人が参加意識を持てるような記念事業を実施したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ 農地・緑の保全について
- ・ 加西の強みについて